

令和元年度各会計の決算をご審議いただくにあたり、各会計歳入歳出決算書並びに決算説明書、決算審査意見書等を提出したところではありますが、審査に先立ちまして、各会計決算の大綱をご説明申し上げます。

令和元年度の当初予算は、

一般会計	200億3,700万円
特別会計	103億4,298万円
下水道事業会計支出	26億9,676万円
病院事業会計支出	78億8,557万円

合わせて、409億6,231万円を計上したところではありますが、その後、補正予算と平成30年度からの繰越事業費繰越額を含めた最終予算額は、

一般会計	219億8,136万円
特別会計	103億8,525万円
下水道事業会計支出	27億9,442万円
病院事業会計支出	79億9,168万円

合わせて、431億5,271万円となったところでもあります。

令和元年度は、総合計画の着実な推進を図りながら、まちの成長力を確保するために策定された「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を実行するとともに、厳しい財政状況を鑑み策定された「滝川市財政健全化計画」最終年としての実行により、事務事業の見直しによる効率化を図るなど、持続可能な財政基盤を築くための取り組みを推進して参りました。

基金につきましては、厳しい財政状況にありながらも、ふるさと基金ほかで4億3,670万円を積み立てることができたことなどにより、基金残高総額は前年度比

3億7,041万円の増額となりました。

以下各会計ごとに主な内容について申し上げます。

一般会計におきましては、予算額219億8,136万円で、歳入213億9,561万円に対し、歳出205億7,176万円で、差引8億2,385万円の剰余を生じました。歳入につきましては、収入済額と予算現額を比較しますと、5億8,575万円の減となっており、その主な内容は、

繰越金	4億9,989万円	
地方交付税	8,063万円	
市税	6,262万円	
地方特例交付金	3,417万円	
分担金及び負担金	607万円	の増となり、
国庫支出金	3億2,762万円	
繰入金	3億1,453万円	
市債	3億1,420万円	
諸収入	1億8,175万円	
地方消費税交付金	6,793万円	
道支出金	3,998万円	
使用料及び手数料	1,257万円	の減となったこと
などによりますが、		

令和2年度に歳入されるべき繰越明許費に係る歳入予算額が、国庫支出金で1億1,088万円、地方債2億6,630万円、計3億7,718万円計上されてお

りますことから、これを差し引いた実質的な歳入は2億857万円の減となったところ
です。

一方、歳出におきましても、予算現額と支出済額を比較しますと、14億960万円
の減となっておりますが、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業、下水道事
業会計出資金や道営土地改良事業負担金など繰越明許費として令和2年度に繰り越し
て歳出することと決定した予算額3億9,399万円が計上されておりますことから、
実質的には10億1,561万円の減となりました。

歳入のうち、市税、使用料及び手数料、財産収入などの自主財源は全体の38.6%、
地方交付税、国・道支出金、市債などの依存財源は61.4%となっております。

自主財源の内訳といたしましては、

市税	43億8,464万円
諸収入	12億8,903万円
寄附金	10億6,490万円
繰越金	7億1,667万円
使用料及び手数料	5億959万円
分担金及び負担金	1億4,637万円
繰入金	9,802万円
財産収入	4,562万円 となり、

また、依存財源の内訳は、

地方交付税	68億957万円
国・道支出金	43億2,647万円
市債	9億2,438万円

その他 10億6,766万円 となっております。

一方、歳出につきまして、性質別にみますと、

扶助費	40億1,149万円
補助費等	40億 951万円
人件費	32億8,655万円
繰出金	22億2,911万円
物件費	19億6,637万円
公債費	18億3,157万円
貸付金	9億1,538万円
建設事業費	7億6,862万円
維持補修費	6億3,947万円
出資金	4億7,697万円
積立金	4億3,670万円 となっております。

つぎに特別会計につきましては、特別会計全体として、歳入101億8,289万円に対し、歳出98億5,180万円で、差し引き3億3,109万円の剰余を生じました。

国民健康保険特別会計では、予算額46億1,202万円で、歳入決算額46億1,033万円、歳出決算額45億1,900万円で差引9,133万円の剰余を生じました。なお、剰余金のうち7,000万円を基金へ繰り入れし、残りを翌年度財源として繰越しました。

歳入についてみますと、

道支出金	34億7,022万円	
国民健康保険税	6億7,362万円	
繰入金	4億3,219万円	
諸収入などその他	3,430万円	となったところです。

一方、歳出についてみますと、

保険給付費	33億4,810万円	
国民健康保険事業費納付金	10億1,788万円	
総務費	7,143万円	
保健事業費	4,457万円	
基金積立金	2,500万円	
諸支出金などその他	1,203万円	となりました。

公営住宅事業特別会計では、予算額8億2,416万円で、歳入決算額8億6,884万円、歳出決算額8億738万円で差引6,146万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

使用料及び手数料	3億1,249万円	
繰入金	2億7,129万円	
市債	2億2,690万円	
繰越金	5,611万円	
諸収入	203万円	
財産収入	2万円	となったところです。

一方、歳出についてみますと、

住宅事業費	5億9,905万円	
公債費	1億8,101万円	
諸支出金	2,732万円	となりました。

介護保険特別会計では、まず保険事業勘定で、予算額41億7,851万円で、歳入決算額39億2,247万円、歳出決算額37億7,121万円で差引1億5,126万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

支払基金交付金	9億1,840万円	
国庫支出金	8億8,739万円	
介護保険料	7億7,124万円	
繰入金	6億531万円	
道支出金	5億4,269万円	
その他財産収入、繰越金、諸収入	1億9,744万円	となったところです。

一方、歳出についてみますと、

保険給付費	32億1,662万円	
地域支援事業費	2億9,769万円	
総務費	1億1,634万円	
その他保健福祉事業費、基金積立金、公債費、諸支出金	1億4,056万円	となりました。

また、介護サービス事業勘定では、予算額7,509万円で、歳入決算額9,412万円、歳出決算額6,814万円で、差し引き2,598万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

サービス収入	7, 206万円	
繰越金	2, 202万円	
その他繰入金、諸収入	4万円	となったところです。

一方、歳出についてみますと、

サービス事業費	6, 814万円	となりました。
---------	----------	---------

後期高齢者医療特別会計では、予算額6億1, 713万円で、歳入決算額6億1, 353万円、歳出決算額6億1, 247万円で差引106万円の剰余を生じました。

歳入についてみますと、

後期高齢者医療保険料	4億1, 692万円	
繰入金	1億9, 491万円	
繰越金	108万円	
広域連合支出金などその他	62万円	となったところです。

一方、歳出についてみますと、

後期高齢者医療広域連合納付金	5億9, 435万円	
総務費などその他	1, 812万円	となりました。

土地区画整理事業特別会計では、予算額7, 833万円で、歳入決算額7, 360万円、歳出決算額7, 360万円で歳入歳出同額となっており剰余金は発生しておりません。

歳入についてみますと、

繰入金	4, 5 2 0 万円
市債	2, 8 4 0 万円 となったところです。

一方、歳出についてみますと、

土地区画整理事業費	6, 6 6 6 万円
公債費	6 9 4 万円 となりました。

つぎに企業会計について申し上げます。

下水道事業会計の収益的収支では、事業収益13億6万円に対し、事業費用12億4,587万円で、5,419万円の純利益となりました。

また、資本的収支では、収入8億7,842万円に対し、支出13億1,739万円で、差し引き不足額4億3,897万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支では、事業収益63億7,415万円に対し、事業費用は69億9,250万円となり、当初予算では4億4,649万円の純損失を見込んでいましたが、6億1,835万円の純損失となりました。

また、資本的収支では、収入1億1,090万円に対し、支出5億7,348万円で、差し引き不足額4億6,258万円となり、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補てんし、なお不足する額は一時借入金で措置しました。

以上、各会計の決算の内容についてご説明申し上げます。

令和元年度決算に基づく健全化判断比率については、今議会において、報告第1号、報告第2号として健全化判断比率及び資金不足比率の報告を行ったところでありますが、いずれの指標についても健全段階であります。厳しい財政状況のなか財源補てん的な基金を繰り入れずに財政運営が可能となるよう今後、より一層財政の健全化を進め、その状況について透明性をもってお知らせしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

令和元年度各会計の決算の詳細につきましては、事前配布させていただきました、款別説明概要にてお示ししておりますので、よろしくご審議をいただき、ご認定いただきますようお願い申し上げます。